

令和3年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

|                 |   |       |          |
|-----------------|---|-------|----------|
| 領域番号            | 1801                                    | 領域略称名 | グローバル関係学 |
| 研究領域名           | グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて:関係性中心の融合型人文社会科学の確立 |       |          |
| 領域代表者名<br>(所属等) | 酒井 啓子<br>千葉大学・法政経学部・教授                  |       |          |

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、世界の諸地域において秩序が揺らぐ現代のグローバルな危機を分析するための新たな視座として、伝統的な国家や地域といった主体ではなく、拡散し重層化する諸主体の関係性に着目する「関係学」を提案し、その学理を明確に構築した。関係分野に十分な理論的貢献をもたらす一方で、個別テーマの経験的研究の充実も遂げるなど、重厚かつ多彩な研究を展開した。学際的で総合的な研究基盤を形成したことを高く評価する。

「主体」中心視座から「関係性」中心視座への転換の道筋を示したという本研究領域の成果は国際的先進性を持つものである。国内向けには既に全7巻からなる叢書の出版などの形で十分な成果発信が行われているが、今後さらに国際的な研究ネットワークの中でも主導的な役割を果たすことが期待される。